

総代のみなさまへ

第 41 総代の任期は 2024 年 6 月 13 日～2025 年 6 月 10 日まで

第 41 期 第 11 号 5 月 5 日



生協ひろしま 理事会

野山や田畑、通りの新緑や花の美しい季節となりました。5 月 7 日より春の地区別総代会議を開催しています。通常総代会に向けて内容を理解し深める場であるとともに、交流できる場でもあります。みなさまのご出席をお待ちしています。



4 月 18 日開催 第 11 回理事会の報告

理事長挨拶

2025 年度が始まり、宅配事業においては 4 月の実績が予算を上回る部分もあれば下回る部分もあり、先行きが見通しづらい状況となっております。こうした中においても、今後の様々な情勢を注視しながら、引き続き組合員のみなさまの暮らしに貢献できるよう取り組んでまいります。

第 1 号議案 2024 年度末決算見込みと剰余金処分案（一次案）について

2024 年度末決算見込みと剰余金処分案（一次案）について、承認されました。当期末処分剰余金は 11 億 8,259 万円を想定しています。

※当期末処分剰余金とは、2024 年度経常剰余金 14 億 5,582 万円から法人税や特別損益などを引き、最終的に残る剰余金のことです。

出資配当金^{しゅつしはいとうきん}は前年 0.1%から 0.2%へ増額し、利用分量割戻金^{りようぶんりょうわりもどしきん}は昨年と同様に 0.3%として組合員還元をおこないます。

主な当期処分額として、法定準備金 1 億 5,000 万円、災害支援積立金 1,500 万円、店舗開設準備積立金 1 億円、資産再評価等積立金 5 億 5,000 万円、災害対策等積立金 5,000 万円を計上し、次期繰越剰余金は 1 億 4,359 万円とします。

まだ確定していない法人税などを反映させた最終報告は 5 月理事会にておこないます。

※2024 年度は、2027 中期計画で想定される減損損失額^{げんそんそんしつがく}5.5 億円を積み立てます。
①2025 年度は、コープ安東の改装、店舗投資による減損額は、3.4 億円を見込みます。
②2026 年度の福祉事業は黒字着地を見込んでいますが、万が一のリスク（3 年連続赤字）に備えます。
減損損失額は 1.7 億円を見込んでいます。（店舗投資と合算して 2 億円）

※「減損（げんそん）」とは、資産の価値が著しく下がった場合に、その価値の減少分を帳簿上で損失として認識することを指します。

第 2 号議案 2024 年度資金運用報告及び 2025 年度資金運用計画について

2024 年度資金運用報告及び 2025 年度資金運用計画について、承認されました。

2024 年度は 87 億円（長期資金 37 億円、短期資金 50 億円）に増額して運用をし、年間の運用益は 1,111 万円（前年比 144.2%）の実績となりました。

2025 年度の資金運用計画は、通常月の支払い後の月末資金（手元資金）32 億円～72 億円を残した運用とし、運用益は金利 0.3%程度を想定し、1,900 万円程度を見込みます。

第3号議案 2025年度借入金の最高限度額について

2025年度借入金^{かりいれきん}の最高限度額80億円について、承認されました。

通常は内部資金で運用しますが、大規模災害など営業ができなくなった場合には、1カ月で約35～40億円の供給高が滞ることになります。また、不測の事態が2カ月以上に及んだ場合には、通常の内部資金では不足することが想定されるため、1カ月の供給高の2倍程度の借入金を最高限度額として設定します。現在の財務状況において、長期借入金はありません。

※借入金とは

不測の事態が生じた場合、被災状況により短期又は長期での借入の発生が想定されます。

短期借入金とは、仕入代金の支払い期日と商品代金の入金期日が異なるため、支払い代金が不足する場合などに借り入れ、1年以内に返済するものです。

長期借入金とは、通常は施設・設備の投資のために借り入れ、1年を超える期間で返済するものです。

第4号議案 マイグレーションサーバの再構築について

マイグレーションサーバの再構築にかかる投資について、承認されました。

※マイグレーションサーバとは（以下、マイグレサーバ）

2017年に「コープCSネット宅配事業システム」が稼働を開始した際に、それまでホストコンピュータで処理していた機能を移行（マイグレーション）したサーバのことです。機能としては、店舗商品の発注機能や決算業務、長期未収金の管理などをおこなっています。

現在の機能が老朽化し、保守期限も近づいているため、プログラムを再構築します。再構築したシステムは6年間使用しながら、業務効率化と管理の最適化をめざして、2031年にマイグレサーバを含む店舗基幹システムの^{ぜんめんきんさうしん}全面刷新を計画しています。

今回のマイグレサーバの再構築は、現在のマイグレサーバの保守・管理をおこなっている株式会社広島情報シンフォニーに依頼します。システム開発は2025年4月に開始し、支払いは2025年度から発生します。構築費（ソフトウェア費）は1億1,300万円で、2026年度の予算に計上し、資産としては2026年6月に計上する予定です。

第5号議案 第41回通常総代会「開催招集通知」について

第41回通常総代会「開催招集通知」について、承認されました。

定款第56条にて「総代会の招集者が総代会を招集する場合には、総代会の日時及び場所その他法令で定める事項を定めなければならない。」とされ、2項にて「前項の事項の決定については理事会の決議によらなければならない。」とされています。

法令で定める事項は、消費生活協同組合法第37条（総会招集の手続き）、消費生活協同組合法施行規則第155条（招集の決定事項）より、以下の事項となります。

- | |
|-------------------------|
| ①総会の日時及び場所 |
| ②総会の目的である事項があるときは、当該事項 |
| ③書面議決書行使の場合、その旨、提出期限の明示 |
| ④書面議決書の賛否記載のない場合の取扱いの明示 |
| ⑤重複した書面議決書の取扱いの明示 |

総代への「開催案内」は上記の事項を記載し、2025年5月6日発送予定としています。

第6号議案 第41回通常総代会「役員改選」「役員報酬」について

役員人事委員会からの答申をうけ、定款第18条・19条・26条及び役員選任規約に基づき、第41回通常総代会議案「役員改選」（2025-2026年度全体区・地方区理事・監事候補者）と「役員報酬」（理事総額報酬・監事総額報酬）について、承認されました。

全体区理事については、全体区役員推薦委員会にて、推薦の報告を受けています。
地方区理事については、地方区役員推薦委員会、拡大地区役員推薦委員会から推薦の報告を受けており、5月7日～16日開催の春の地区別総代会議にて、各委員長もしくは委員より推薦の報告をおこないます。

第7号議案 2025年度役員改選期における常勤役員の任期延長について

2025年度役員改選期にあたり、生協ひろしま役員の任期・年齢上限に関する内規において、年齢上限に該当する役員の任期延長（1期）について、承認されました。

第8号議案 住所不明組合員の脱退手続き完了報告について

住所不明組合員の脱退手続き完了報告について、確認されました。
住所不明による脱退（みなし脱退）手続き予定組合員（2,260名）を対象に1カ月間の「住所不明組合員の所在確認に関する公告」の告示をおこない、84名の方の住所や利用が確認され除外しました。告示後も判明しなかった2,176名を2025年3月31日付で、みなし脱退組合員として手続きを完了しました。

※この脱退手続きは、定款10条第2項に基づき定められた「住所不明組合員の脱退手続きに関する規約」に従った脱退手続きです。生協ひろしまに加入されながら、過去3年間事業やサービスを利用されておらず、かつ登録住所に居住されていないに関わらず、住所の変更の届出を2年間おこなっていない組合員が対象となります。
※今回、脱退手続きをおこなった組合員は完全に脱退されたという位置付けではなく、規約に基づき「みなし脱退組合員（仮に脱退扱いとすること）」として、出資金を生協ひろしまでお預かりします。本人からのお申し出があれば出資金を返還します。また、再加入を希望される方はお預かりしている出資金で再登録（新規加入）していただきます。

第9号議案 3度組織・事業状況及び決算報告

1. 3月度決算・事業状況

2025年3月度		損益計算書			(単月)		2025/4/10			
		予算:41期予算				単位:千円				
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明
A	宅配事業	2,944,770	3,174,098	3,065,150	107.8%	229,328	103.6%	108,947		宅配利用金額
B	店舗事業	757,029	806,076	749,972	106.5%	49,047	107.5%	56,104		店舗利用金額
C	供給高(利用高)	3,701,799	3,980,174	3,815,123	107.5%	278,375	104.3%	165,051	(A+B)	宅配・店舗利用金額
D	供給原価	2,516,761	2,699,973	2,554,170	107.3%	183,212	105.7%	145,804		商品の販売費用
E	供給剰余金	1,185,038	1,280,200	1,260,953	108.0%	95,162	101.5%	19,247	(C-D)	商品販売の利益
F	電力供給高	87,810	78,512	68,150	89.4%	-9,298	115.2%	10,361		電力事業の収入
G	電力供給原価	83,363	88,954	78,825	106.7%	5,591	112.8%	10,129		電力事業の仕入高
H	電力供給剰余金	4,447	-10,442	-10,674	-234.8%	-14,889	102.2%	232	(F-G)	電力事業の利益
I	福祉事業収入	117,361	122,555	118,499	104.4%	5,194	103.4%	4,056		福祉事業の収入
J	福祉事業費用	107,689	112,527	108,457	104.5%	4,838	103.8%	4,070		福祉事業の費用
K	福祉剰余金	9,672	10,028	10,043	103.7%	356	99.9%	-14	(I-J)	福祉事業の利益
L	共済受託手数料	61,190	61,801	61,679	101.0%	611	100.2%	122		共済受託手数料収入
M	受取手数料	67,730	64,106	62,197	94.6%	-3,624	103.1%	1,909		受取手数料収入
N	その他事業収入	128,920	125,907	123,876	97.7%	-3,013	101.6%	2,031	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入
O	事業総剰余金	1,328,077	1,405,693	1,384,196	105.8%	77,616	101.6%	21,496	(E+H+K+N)	事業活動からの利益
P	人件費計	600,656	592,891	527,396	98.7%	-7,765	112.4%	65,495		職員給与など
Q	物件費計	656,086	583,181	527,623	88.9%	-72,905	110.5%	55,558		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など
R	事業経費	1,256,742	1,176,072	1,055,020	93.6%	-80,670	111.5%	121,052	(P+Q)	事業活動からの経費
S	事業剰余金	71,335	229,621	329,177	321.9%	158,286	69.8%	-99,556	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益
T	事業外収益	48,759	111,548	144,732	228.8%	62,789	77.1%	-33,184		財務活動からの利益(家賃収入など)
U	事業外費用	152	17,242	24,620	11343.3%	17,090	70.0%	-7,378		財務活動からの費用(支払利息など)
V	経常剰余金	119,942	323,927	449,289	270.1%	203,985	72.1%	-125,362	(S+T-U)	事業全体で得た利益

■A 宅配事業

利用高 31 億 7,409 万円、予算比 107.8%・予算差+2 億 2,932 万円、前年比 103.6%・前年差 +1 億 894 万円でした。利用人数は予算比 101.0%、実利用金額は予算比 106.3%。

■B 店舗事業

利用高 8 億 607 万円、予算比 106.5%・予算差+4,904 万円、前年比 107.5%・前年差+5,610 万円でした。来店客数は前年比 95.8%、客単価は前年比 112.2%。

宅配事業(2025年3月度)								店舗事業(2025年3月度)				
宅配事業	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	店舗事業	本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	581,210	587,216	583,721	101.0%	6,006	100.6%	3,495	来店客数(名)	307,690	321,122	-13,432	95.8%
実利用金額(円)	4,791	5,092	4,929	106.3%	302	103.3%	163	客単価(円)	2,620	2,335	285	112.2%

■E 供給剰余金

実績 12 億 8,020 万円、予算比 108.0%・予算差+9,516 万円、前年比 101.5%・前年差+1,924 万円。

■H 電力供給剰余金

実績-1,044 万円、予算比-234.8%・予算差-1,488 万円、前年比 102.2%・前年差+23 万円。

■K 福祉剰余金

実績 1,002 万円、予算比 103.7%・予算差+35 万円、前年比 99.9%・前年差-1 万円。

■N その他事業収入

実績 1 億 2,590 万円、予算比 97.7%・予算差-301 万円、前年比 101.6%・前年差+203 万円。

（共済受託手数料 実績 6,180 万円、予算比 101.0%・予算差+61 万円、前年比 100.2%・前年差+12 万円）

（受取手数料 実績 6,410 万円、予算比 94.6%・予算差-362 万円、前年比 103.1%・前年差+190 万円）

■O 事業総剰余金

実績 14 億 569 万円、予算比 105.8%・予算差+7,761 万円、前年比 101.6%・前年差+2,149 万円。

■R 事業経費

実績 11 億 7,607 万円、予算比 93.6%・予算差-8,067 万円、前年比 111.5%・前年差+1 億 2,105 万円。

■S 事業剰余金

実績 2 億 2,962 万円、予算比 321.9%・予算差+1 億 5,828 万円、前年比 69.8%・前年差-9,955 万円。

■V 経常剰余金

実績 3 億 2,392 万円、予算比 270.1%・予算差+2 億 398 万円、前年比 72.1%・前年差-1 億 2,536 万円。

2024 年 4 月～2025 年 3 月の累計実績は以下となります。

2024年4月～2025年3月度 損益計算書					(累計)		2025/4/10				
					予算:41期予算		単位:千円				
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明	
A	宅配事業	39,430,851	40,351,840	39,352,552	102.3%	920,989	102.5%	999,289		宅配利用金額	
B	店舗事業	8,880,000	9,362,890	8,651,170	105.4%	482,890	108.2%	711,719		店舗利用金額	
C	供給高(利用高)	48,310,851	49,714,730	48,003,722	102.9%	1,403,879	103.6%	1,711,008	(A+B)	宅配・店舗利用金額	
D	供給原価	35,862,578	36,972,973	35,613,201	103.1%	1,110,395	103.8%	1,359,772		商品の販売費用	
E	供給剰余金	12,448,273	12,741,757	12,390,521	102.4%	293,484	102.8%	351,236	(C-D)	商品販売の利益	
F	電力供給高	728,486	786,385	631,649	107.9%	57,899	124.5%	154,736		電力事業の収入	
G	電力供給原価	700,783	791,159	726,045	112.9%	90,376	109.0%	65,115		電力事業の仕入高	
H	電力供給剰余金	27,703	-4,775	-94,396	-17.2%	-32,478	194.9%	89,621	(F-G)	電力事業の利益	
I	福祉事業収入	1,397,696	1,433,267	1,401,846	102.5%	35,571	102.2%	31,421		福祉事業の収入	
J	福祉事業費用	1,294,658	1,322,290	1,272,156	102.1%	27,632	103.9%	50,134		福祉事業の費用	
K	福祉剰余金	103,038	110,977	129,690	107.7%	7,939	85.6%	-18,713	(I-J)	福祉事業の利益	
L	共済受託手数料	735,287	741,214	737,686	100.8%	5,927	100.5%	3,528		共済受託手数料収入	
M	受取手数料	757,916	781,023	759,084	103.0%	23,107	102.9%	21,939		受取手数料収入	
N	その他事業収入	1,493,203	1,522,238	1,496,770	101.9%	29,035	101.7%	25,468	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入	
O	事業総剰余金	14,072,217	14,370,197	13,922,585	102.1%	297,980	103.2%	447,612	(E+H+K+N)	事業活動からの利益	
P	人件費計	6,764,737	6,787,144	6,657,722	100.3%	22,407	101.9%	129,422		職員給与など	
Q	物件費計	6,803,621	6,492,190	6,266,073	95.4%	-311,431	103.6%	226,117		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など	
R	事業経費	13,568,358	13,279,334	12,923,794	97.9%	-289,024	102.8%	355,540	(P+Q)	事業活動からの経費	
S	事業剰余金	503,859	1,090,863	998,790	216.5%	587,004	109.2%	92,072	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益	
T	事業外収益	260,547	386,002	486,335	148.2%	125,455	79.4%	-100,333		財務活動からの利益(家賃収入など)	
U	事業外費用	3,006	21,043	27,421	700.0%	18,037	76.7%	-6,378		財務活動からの費用(支払利息など)	
V	経常剰余金	761,400	1,455,821	1,457,705	191.2%	694,421	99.9%	-1,883	(S+T-U)	事業全体で得た利益	

2. 店舗での良品計画展開スケジュールと品揃えについて

店舗での良品計画展開スケジュールと品揃えについて、確認されました。

良品計画のオープン日は、コープ高陽が 5 月 16 日（金）、コープ西風新都が 5 月 30 日（金）販売開始になります。

コープ高陽は、100 円均一売り場を入れ替えし、約 900 種類の商品を配置します。

コープ西風新都は、現状雑貨コーナーを縮小し 618 種類の商品を削減します。良品計画では約 800 種類の商品配置をおこないます。

今回の良品計画の品揃えにおいて、コープ商品の削減はありません。

第 10 号議案 3 月度一般活動報告

1. 内部統制・グループ会社報告

3 月度の内部統制（法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など）、グループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。

2. 産直商品「つるい牛」価格変更について

取引先より、産直つるい牛の買入価格の値上げ要請がありました。5 者協議（JA 全農ミートフーズ、コープ CS ネット、生協しまね、コープやまぐち、生協ひろしま）の結果、やむを得ないものと判断し一部商品の価格改定をします。

買入価格変更の要因としては、乳用牛（ホルスタイン種）の減少により子牛の価格の上昇、飼料の値上がり、補助金減少による生産者負担の増加、さらに運送費などの経費増加が重なって、産直つるい牛の生産コストが上昇していることが主な要因です。

宅配では、供給への影響や原料消化の面も考慮して、納入価格は変更しますが売価変更はおこなわず、重点的に販売促進をおこなう商品や頻度を見直し、利用状況の維持に努めます。

店舗では、これまで価格据置きで販売を継続していましたが、競合他社の販売価格も考慮し、精肉トータルでの値入調整ができないと判断し、4 月より納入価格の変更と一部商品を値上げします。

商品名	規格	現行		変更後	
		本体価格	税込価格	本体価格	税込価格
産直つるい牛こまぎれ	100 g 当	298 円	321 円	358 円	386 円

納入価格、価格変更については、宅配は 2025 年 6 月 1 回～2026 年 5 月 4 回、店舗は 2025 年 4 月 1 日納品分～2026 年 3 月 31 日となります。

3. 第 41 回通常総代会 進行次第と役員、総代の役割について

第 41 回通常総代会の進行次第と役員、総代の役割について、確認しました。

進行次第は、議案提案以外に、生協ひろしまからのお知らせとして、「国際協同組合年」の紹介、被団協からのメッセージ紹介、県内の支所・店舗・福祉事業所や新東広島支所の紹介を予定しています。

4. 第 42 期総代選出状況について

第 42 期（2025 年度）総代は、「2025 年 6 月 10 日開催の第 41 回通常総代会の翌日から 2026 年開催の第 42 回通常総代会までを任期」とします。総代選出状況は、540 名の定数に達したことを確認しました。

5. 2025 年度平和活動企画・行事の開催、ピースナイター2025 開催について

2025 年度の平和活動企画・行事の目的や日程、内容について確認をしました。また、ピースナイター2025 の企画内容について確認をしました。

6. キッチンカー導入について

2025 年度投資予算において、食に関する活動や商品の普及活動、さらには災害時における支援活動など幅広く活用することを目的にキッチンカーを導入することを確認しました。

<導入目的>

- ・食に関する活動や商品普及、催事・地域イベントに活用します。
- ・また、災害時の炊き出し支援（お好み焼き隊など）にも迅速に対応できる体制を整えます。
- ・さらに、生協ひろしまの広告塔として、魅力発信や認知度向上にもつなげていきます。

<活用用途>

- ・食に関する活動や商品普及活動時の調理スペースの代用として使用します。
- ・店舗周年祭や夏祭りなどの催事イベントでの活用、組合員主催の交流会やイベントでの調理・試食の提供をおこないます。
- ・災害時の炊き出しなど支援活動への対応をします。

2025 年度投資予算内の 1,500 万円を上限に導入予定とし、概算費用は以下となります。

2025 年 10 月末での納車を予定しています。

項目	内容（案）	金額(千円)
移動店舗 4 号車	いすゞ エルフ 4WD（車体すべてを修理）	2,000
車輛架装	庫内撤去および新設、車輛ラッピング、ステップ、タンク、電源、太陽光パネル他	8,000
設備機器	お好み焼き鉄板（ガス）、台下冷蔵庫、エアコン、換気扇、シンク、作業台、レンジ他	4,500
備品、その他	収納、発電機、営業許可登録料	500
合 計		15,000

7. 因島生協の経営状況と物流手数料の支払いおよび理事選出について

2021 年度から「因島生協対策委員会」が設置され、関係団体（日本生協連、コープ CS ネット、広島県生協連、生協ひろしま）が連携し、再生支援を実施してきました。

この間、店舗事業の撤退や、宅配事業の収益改善、葬祭事業の見直しをおこないました。これらの取り組みにより、経営は大きく改善し、2022 年度からは 3 期連続で黒字経営を実現しています。

そのため 2021 年度・2022 年度に減免した物流手数料の返済について、当初の予定通り 2025 年 4 月

から開始することが確認されました。返済額は1億1,666万円で、返済期間2025年4月～2030年3月（5年間）となります。返済された金額は、宅配事業のその他事業収入で計上します。

（参考資料）【生協ひろしまによる因島生協への経営再建支援枠（2021-2022）】

①共同連帯事業契約に基づく物流手数料の減免（2年間）、②宅配事業に精通した職員1名を日本生協連へ出向させ実行支援（2023年度より2年延長）、③日常的な業務支援を実施。

また、因島生協より令和7年度～8年度の理事選出要請を受け、管理部統括部長を理事選出することが確認されました。

8. 2025年度グループ会社役員体制について

生協ひろしま本体の組織体制変更および役職定年に伴い、グループ会社（取締役・監査役）の体制変更について確認されました。

コープハウジングひろしま(株)、コープサービス(株)、(株)ハートコープひろしま、(株)ハートランドひろしまの各社2024年度株主総会終了後から新体制となります。

文書報告

1. コープ商品の改廃情報（2025年5月～2025年7月）として、9品目が報告されました。
2. 組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が報告されました。

インフォメーション

☆推進リーダー・サブラーダー研修交流会「テーマ：楽しい組合員活動をデザインしよう♪」

4月17日、推進リーダー・サブラーダー研修交流会が開催されました。組合員48名と職員26名の参加がありました。

日本生活協同組合連合会の二村睦子常務理事に「元気な組合員活動をつくる」をテーマに講演していただいた後、グループに分かれて楽しく交流しました。組合員活動を企画するヒントが得られました。



日本生活協同組合連合会
二村睦子常務理事



講演の様子



グループ交流の様子



今年度も楽しいひろばや行事が企画されるので、たくさんの組合員の参加お待ちしております。

くらしを豊かに みんなの力で かつどうをひろげ つなごう